

KANAKEI

県内ビジネス情報イッキ読み!

Biz Log

※本紙全てのコンテンツの無断転載・複写・転用を禁止いたします。

2021 VOL.088 4月号

〈発行〉 **KANAKEI** かながわ経済新聞。

〒252-0239 相模原市中央区中央3-12-3
相模原商工会館 本館 1F

〈制作〉 神奈川新聞社

SINCE 1970 共に未来を創る

会社成長の専門家
りんくグループ

042-730-7891
www.link-tax.com

0 ちょうどいいりんく

税務・会計・経営支援

「人財」でお困りなら

株式会社 **mi** ミヨシ・ロジスティックス

042-779-6619 <http://miyoshi-log.co.jp/>

HEADLINE

- ▽川崎市産振財団が支援体制を効率化(2面)
- ▽兼業・副業認める県内企業が倍増(3面)
- ▽設置型授乳室、急速に普及(4面)
- ▽〈特集〉3月に取材した県内の独創企業(5面)
- ▽加工業に大切な「正三角形」の経営(6面)
- ▽台湾屈指の精密板金業(7面)
- ▽デジタル戦略で県内首位に(8面)

町工場発「プロの技術」お届け

5社連携、高品質で愛着持てる商品を提案

秦野市や伊勢原市などの県内中小製造業4社と埼玉のデザイン会社が手を組み、町工場発の生活雑貨ブランド「Plodigt (プロディグト)」を立ち上げた。精密板金や金属絞り、金属表面処理、木工などの異業種企業が互いの専門性を生かし商品を開発していく。中小製造業はプロの技を持っていても産業用に限定されるケースが多く、BtoC (個人向け) 商品とはなじみが薄い。海外量産品が市場を席巻する中で、ものづくりの原点に立ち返り、多少高くても長く使い続けられる「町工場発の日本製」を提案する。

精密板金加工の五洋工業(秦野市)と窒化処理の極東窒化研究所(同)、木工の武周木工(小田原市)、へら絞り加工の磯崎絞製作所(伊勢原市)、それにプロダクトデザインやブランディング支援を手掛けるC-OILING (埼玉県戸田市)が参加した。

五洋工業の酒村幸男社長は「町工場はBtoC商品を作ろうと思ってハードルが高い」と説明。一方、C-OILINGの大後裕子代表は「デザイナーは作りたいものがあるけど、どこで作ってくれるか分からない」と話す。今回、互いに接点を持ったことでブランド

が立ち上がったという。

第一弾として、フライパン2種と卵焼き専用フライパンを試作。2月に開催された「東京インターナショナル・ギフト・ショー春2021」に出展したところ、卵焼き専用フライパンは、キッチン&ダイニンググッズコンテストで大賞を受賞した。

製作は各社が連携。丸いフライパンは、ロケット部品や航空機部品などを手掛ける磯崎絞製作所のへら絞りを活用。四角いフライパンは五洋工業の板金、木製の取っ手は武周木工が担当した。

いずれのフライパンにも、極東窒化の窒化処理とブラスト処理が施された。窒化処理はギアや歯車、スピンドルな



参加企業のメンバーたち



試作した個人向け商品

ど、常に金属の表面を酷使する産業用部品で使用されており、鋼の表面を硬化させ、耐摩耗性や耐腐食性を持たせる技術だ。

また、フライパン本体と取っ手部分は、一般的なりベットで接合するのではなく、五洋工業の職人が溶接した。「1社単独ではできないことでも、技術を持ち合えば商品化が可能になる」(酒村社長)と話している。

5社は5月中の商品化を目指す。ただ、最初から収益を追うより、「安くすぐ壊れるものではなく、長く愛用できる商品の魅力を消費者に訴求していきたい」(同)とする。ネット通販のほか、地域内での販売も想定。地元企業が製作した日常で頻繁に使用する生活雑貨を地域の人たちが手にすることで、ものづくり企業に対する関心を持ってもらうきっかけ作りも狙うという。

県が「伴走支援型特別融資」を新設

コロナ影響の企業対象 早期改善に活用

一方、「事業再生サポート融資」は、コロナ禍で金融機関からの借り入れが過大となったものの、売り上げなどが改善していない中小企業が対象。認

む。金融機関が計画をフォローアップし、支援することで早期の再生を後押しする。

融資限度額は2億8000万円。期